

Leading Innovation >>> 東芝換気扇応用部材取付・取扱説明書

差圧式給気ユニット

形名 DV-2KAS

- このたびは差圧式給気ユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの差圧式給気ユニットを正しく使っていただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。
- この差圧式給気ユニットは、気密性の高い住宅などで汚れた空気を排出するときに必要な新鮮外気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇とともに使用します。
- この取付・取扱説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
△ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が*1傷害を負うことが想定されるか、または*2物的損害の発生が想定されること”を示します。
<small>*1傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。 *2物的損害とは、家屋・家財および家具・ベットにかかわる拡大損害をさします。</small>	
図記号の例	
図 記 号	図 記 号 の 意 味
! 手袋をする	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「手袋をする」を示します。

△ 注意

取り付け、お手入れの際は必ず手袋を使う
端面などでけがをする恐れがあります。



手袋をする

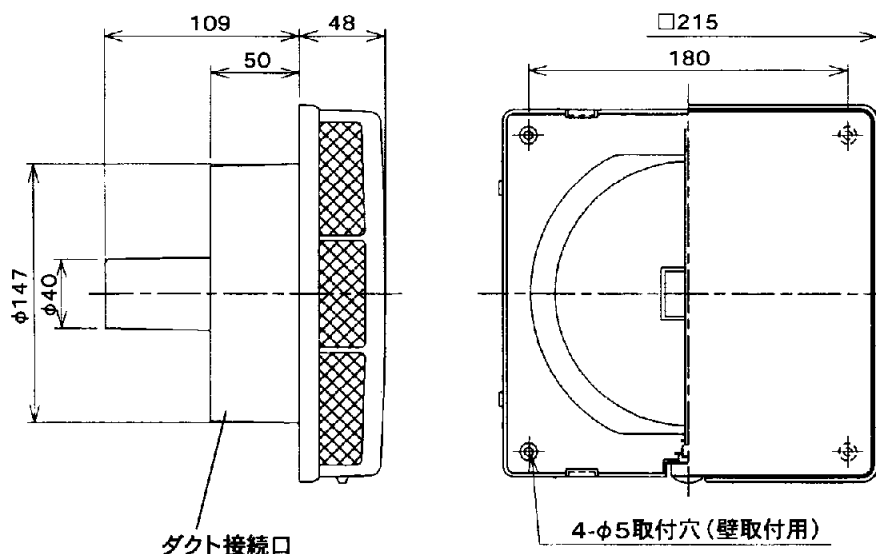
強度のある所に確実に取り付ける

落下により、けがをする恐れがあります。



確実に取り付ける

外形図



単位(mm)

付属品

- パッキン
3mm厚 ……1本(スパイラルダクト用)
5mm厚 ……1本(VU管用)
- 取付ねじ
……………4本

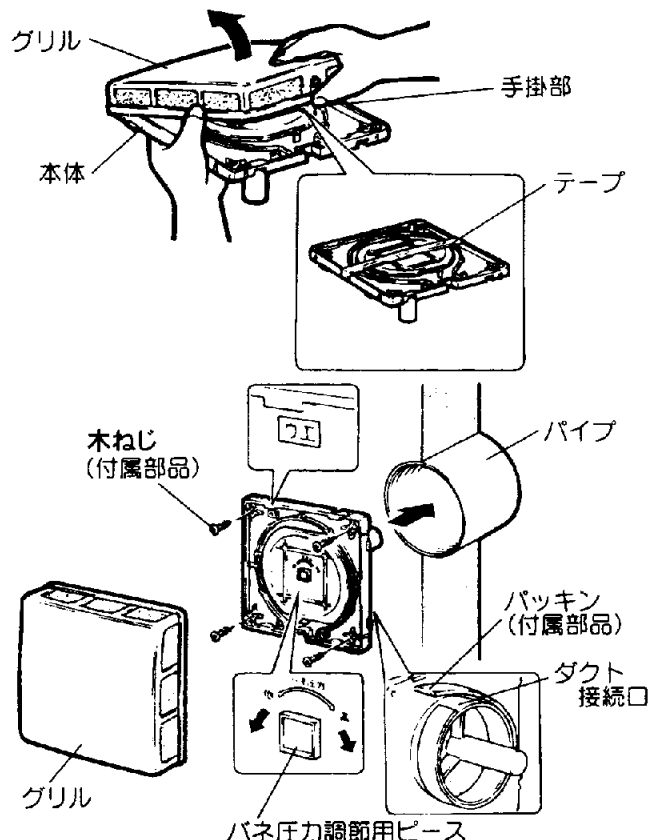
適用パイプ

- 鋼板製スパイラルダクトφ150
- 塩ビ管(VU)φ150
※VP管は使用できません。

お願い

- 次のような場所には取り付けないでください。変色・変形の原因になります。
 - 直接油煙のかかるところ
 - 浴室・洗面所など湿気の多いところ
 - 周囲に障害物があるところ
- 取り付けは壁取付とし、天井には取り付けないでください。
- 上下をまちがえないよう取り付けてください。

取り付けかた ※取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。



- 1.壁にパイプを配管し、確実に固定します。
- 2.グリル下部の手掛部(シャッターロック用ツマミの奥)に指を掛け、グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
- 3.シャッター固定用のテープを取りはずします。
- 4.ダクト接続口に付属のパッキンを巻き付け、上下を壁面に、付属の木ねじで確実に固定します。
- 5.レンジフードファンを運転・停止させ、シャッターの開閉がスムーズに動作するか確認してください。

差圧感応圧力の調節をする場合

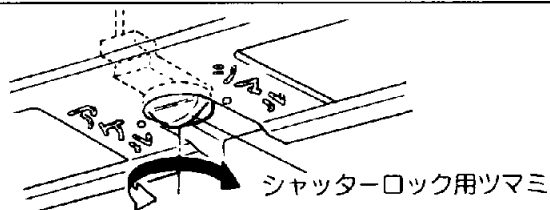
- シャッター中央のバネ圧力調節用ピースを標準位置から右約9回転で高圧力設定、左約6回転で低圧力設定になります。

作動圧力設定	作動開始圧力	設定方法
高	50Pa	右約9回転時
標準	40Pa	工場出荷時
低	30Pa	左約6回転時

お願い

- 高圧力設定時、バネ圧力調節用ピースを「高圧力」側に回し過ぎますとシャッターが開きません。シャッターが開かなくなった場合はバネ圧力調節用ピースを3～5回「低圧力」側に回してください。
- 6.グリルの上下を確認して取り付けます。

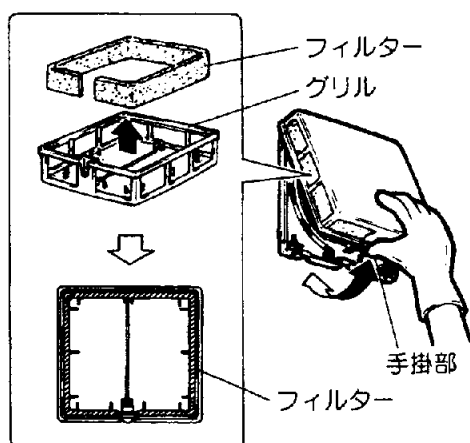
使いかた



- この差圧式給気ユニットは、常時「アケル」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはグリル下部のシャッターロック用ツマミを回転させ「シマル」にします。その後必ず「アケル」状態にすることを忘れないでください。

お手入れのしかた

- フィルターや本体、グリルにほこりが付着しますと風量低下などの原因となります。約2ヶ月に1回を目安に清掃してください。



- 1.グリルをはずします。
シャッターロック用ツマミは「アケル」にしてグリル下部の手掛部(シャッターロック用ツマミの奥)に指を掛け、グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
- 2.グリルの内側に差し込んであるフィルターをはずします。
- 3.フィルターの清掃(フィルターは再生タイプです)軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸取ってください。
汚れのひどい時は水または、ぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
フィルターは、水洗い5～6回を目安に交換してください。
(交換用フィルター F-2KA)
- 4.フィルターをグリルの内側に図のように差し込み、グリルの上下を確認し取り付けます。

お願い

- フィルターを入れ忘れますと壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤
(変質・変色する原因になります)